

第2次子ども読書活動推進計画 令和4年度評価コメント【まとめ】

●評価できる事業、取り組み

施策No.	コメント
4	図書コーナーに椅子・テーブルを設置して、園児同士や親子で落ち着いて絵本を見ることができるようしたのは、良かったです。絵本を読む園児や親子が増えたのだろうと思います。
4	子ども特有の本の読み方を理解して～など、とても良いと思います。
4	園内図書コーナーに椅子・テーブルを設置したことで、園児同士だけではなく親子でも落ち着いて絵本を見ることができるようになったのがよい。園内にて親子で絵本を楽しむ時間は、家庭での読書にもつながるだろう。
5	発達段階に応じた読み聞かせ～心と想像力を育むのでとても良いと思います。
6	市内保育園保育士を対象にした「絵本の読み聞かせ」の研修を行ったのは、良かったです。「絵本の読み聞かせ」にはコツがあると思います。そのコツを心得た保育士が上手に読み聞かせをすることで、本を好きになる子どもが増えると思います。
6	「絵本の読み聞かせ」の研修の実施を高く評価。
7	保育園の貸出図書で貸出数の多い図書を保護者へ年齢別に紹介したのは、良かったです。同年齢の子どもたちに人気のある本が分かって、保護者はありがたかったと思います。
7	読書相談はまだ実施できていないようだが、年齢別のおすすめ本のリストは保護者にとって大変役に立ち、ありがたいもの。園と家庭において、読書活動の連携が取れているように思われる。
8	学校図書館システムの導入を行い、蔵書検索や、児童・生徒の読書量等の実態把握などが可能となり、良かったです。今後、しっかりと活用していきたいと思います。
8	各学校で読書活動指導協力者に開き読みやブックトークを行っていただけて良かったです。
8	学校図書館システムの導入を行い、蔵書検索や、児童・生徒の読書量等の実態把握などが可能となった点。 他校の蔵書も調べられるようになった点。
8	学校図書館と児童・生徒との関わりを深めるために、読書相談や調べ学習などの支援を行います。→学校に貸し出してくれる調べ学習のレファレンスが向上していると感じます。依頼したテーマに対してバランス良く選書してもらえます。
1 1	朝の読書や読み聞かせ、調べ学習などのサポートをしてもらえると、本に興味の無い子も興味を持つキッカケになるので、続けてもらいたいです。
1 5	子どもが利用しやすい環境の整備→児童コーナーに児童の取りやすいテーブルにテーマ別に並んだ本がいつも楽しいテーマで、手に取りやすいです。

16	図書館講習会受講者からの読書活動への参加については、小学校からの依頼（室田小学校）に対して図書館からの推薦という形を作ってもらっています。
18	乳幼児にもスマホやタブレットを見せっぱなしの親も結構いるので、とても良いと思います。
19	本の楽しみを知ってもらうため、図書館職員やボランティアによるおはなし会を開催します。→オンラインブックトークは、ボランティア頼みでない図書館員主導による読書推進であり、大切な姿勢ではないかと思います。
20	図書館職員の学校派遣は、子どもたちにとって大きな刺激となっていると聞いています。読書指導協力者によるふれあい読書とは違った緊張感、期待感等があるようです。今後も引き続きお願いします。
20	様々な分野の本を利用し、本を活用した調べ方が身につくよう、調べ学習を受け入れます。→室田小学校・小和田小学校では、百科事典・学習年鑑・福祉関係・自動車に関する本など、先生の要望によってテーマにそった本を図書館で集めてもらい、貸し出しをしてもらいました。
22	「オンラインブックトーク」で紹介した本などのプログラムと保護者におすすめの本、布本のリストをホームページに掲載したのは、良かったです。今後も積極的な情報提供をお願いします。
16、20、21、23、24、25	コロナ明けの再開、おめでとうございます。
全体	コロナ禍で中止となっていた事業等が再開されて良かったです。今後は、コロナ禍のために各種行政サービス等を受けられなかった方々へのフォローをお願いしたいと思います。

●改善を要する事業、取り組み

事業No.	コメント
5	今までできていた「保護者ボランティアの参加により、読み聞かせの機会を増やす」ことが令和4年度はできなかった、その理由・原因は何だろうか。
8	「学校図書館水準100%」について、令和2年度以降、図書の充実に努めているものの、何らかの理由により蔵書率は100%を下回っている。令和4年度においては、小学校・中学校ともに100%を下回った学校が昨年度より増えている。にもかかわらず、「実施できた」としてチェックが入っているのは何故なのか。例えば「達成に向け収集を進めたから」、それだけで、この項目は「実施できた」としているのだろうか。
8	学校図書館システムの導入を行い、蔵書検索や、児童・生徒の読書量等の実態把握などが可能となりましたが、その活用の仕方等の教職員向け研修は行われていないように思います。学校図書館担当教員、司書教諭等への研修が望まれます。 また、小学校6校、中学校10校で蔵書率100%を下回ったことは、問題だと思えます。下回らないような取り組みをお願いします。
8	子どもの読書機会を増やすため、学校への団体貸し出しが他団体と同様1校1枚となっているが、調べ学習用と読書活動の2枚体制にしてはどうかと思う。
9	必要な本が探しやすい図書の配列や、子どもが入りやすい空間をつくります。 →取り組みの工夫やアイデアを共有できる研修がほしいと思います。
9	学校の蔵書のデータベース化と活用方法について研究します。→学校ごとに任されているが、データベース化のためには共通認識も必要だと思います。

1 0	令和3年度の意見書にて「研修の充実が大事」であると強く主張しているが、評価のうえでは何の変化も見られない。
1 0	司書教諭、学校図書館嘱託員など教職員の専門性を高めるため、研修会へ参加します。→各現場ごとに任せるのではなく、学校図書館を活用するためにどんな研修会が必要か教育委員会が指針をもって研修会を計画してほしいと思います。
1 0	平成25年からは（平成27年まで）5回開催しています。→成果だけでなく、令和4年度の現状も調査したうえで記載すべきではないかと思います。（司書さんに聞くと、連絡会と研修会は同じではないという認識でした。連絡会は仕事の情報の共有で、研修会は図書館運営に関する勉強のできる機会との認識のようでした。）
1 3	今後、全小中学校で開き読みやブックトークを行っていただけるようにしてほしいと思います。
1 4	「小学校高学年からみられる読書離れに対応するため、10代を対象とした図書を積極的に収集し、提供します。」→本館にも常設のヤングアダルト棚がほしいと思います。
1 4	読書が習慣になるように朝の読書や読み聞かせを行います。→実施校、実施時間がコロナで減少し、そのまま減少傾向です。
1 4	保護者やボランティアが利用できる、読み聞かせなどの子ども読書活動に関する資料の充実を図ります。→よい本をそろえてくれると思うので、保護者が手に取れる配架の工夫をお願いしたいです。
1 5	中高生を対象とした読書講座、平成28年度には一度できているのだから、当時の記録を参考に、もう一度挑戦してみてもいいのでは？
2 0	児童・生徒が図書館を身近なものにするため、市立図書館を利用した授業を工夫します。→オンラインで培った技術を使って学校と図書館をオンラインでむすんだ図書館見学や調べ方などの授業ができればいいです。
1 5、1 6、2 0、2 2	“ねらい”の一番下の内容は、何年も実施できていないので、見直した方がよいと思います。